

## 横須賀市内中学校教諭等に対する防大研修を支援



武道館にて説明を聞く中学校教諭等  
(防衛大学校で)



研修に参加した中学校教諭等

神奈川地方協力本部横須賀地域事務所(所長 東3海佐)は、8月23日(水)、中学校教諭等12名に對する、防衛大学校研修を支援した。

本研修には、横須賀市内にある中学校8校から学校長を含む教諭11名と市教育委員会から役員1名が参加した。

大学校では、最初に概要説明を受けた後、本部庁舎、記念講堂、総合情報図書館、資料館、武道館を見学し、昼の課業行進をする学生たちの姿を見た教諭は「ずいぶん堂々としていますね」「頼もしい」と話した。

見学を終えた校長は「防衛大学校が幹部自衛官の育成に力を注いでいることが実感できた」「次回は、若手教員を連れてきたい」などと感想を述べていた。

横須賀地域事務所は「今後も教育関係者の研修を支援し、自衛隊に対する関心の喚起と理解の増進に努め、募集及び防衛基盤の拡充を図っていく」としている。

## 募集対象者等に対し空自入間基地研修を実施



C-1 中型輸送機の機内でパイロットから説明を受ける参加者たち(空自入間基地で)



T-4 練習機の操縦席に乗り込む募集対象者たち(空自入間基地で)



研修に参加した募集対象者ら(空自入間基地で)

自衛隊神奈川地方協力本部(本部長 1等海佐 山野太資)は、8月31日(木)、募集対象者等33名に對し、空自入間基地において部隊研修を実施した。

基地では、最初に修武台記念館を見学し、参加者は「1時間では物足りない。もっとじっくり見たい」と館内に展示されている航空機に興味津々の様子だった。

午後は、C-1 中型輸送機の機内を見学し、パイロットから説明を受けた。入隊希望の息子と共に参加した母親は「お勤めは何年目ですか。お給料はどのくらい」と質問し、その答えに注目が集まるなど積極的な質疑応答が行われた。

また、T-4 練習機の操縦席に座って記念撮影を行い、将来パイロットになりたいという生徒は「もう一回乗っていいですか」と再び操縦席に乗り込んでいた。

参加者は「今回の見学で自衛隊の航空機に興味を持った」「普段は見られない施設や航空機を見られたのは、とても貴重な体験だった」「航空自衛隊も就職先として考えてみたい」などと感想を述べていた。悪天候により、体験搭乗は行われなかったが、充実した1日を過ごした様子だった。

神奈川地本は「今後も募集対象者に対し積極的に部隊研修を行ない、自衛隊への理解を促進するとともに、入隊を考える機会を作り、志願者の獲得に繋げていく」としている。

## 神奈川県・小田原市合同総合防災訓練 「ビッグレスキューかながわ」において予備自衛官等制度をPR



傷病者の搬送法を指導する  
即応予備自衛官



救出救助訓練を実施する  
即応予備自衛官



予備自衛官等制度広報

自衛隊神奈川地方協力本部(本部長 山野太資1等海佐)は、9月1日(金)、小田原市酒匂川スポーツ広場で実施された「ビッグレスキューかながわ」において、予備自衛官等制度の広報を実施した。

「ビッグレスキューかながわ」は、9都県市(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)合同防災訓練のうち、神奈川県が主催する大規模災害を想定した総合防災訓練であり、神奈川地本は例年本訓練に参加している。

当日はやや風は強かったものの天候にも恵まれ、安倍首相をはじめとする多数の政府関係者や、統合幕僚長等の自衛隊関係者も本訓練を視察するなか、同地本が管理する即応予備自衛官も、警察官、消防隊員、関係自治体職員らとともに、救出救助、傷病者の搬送、燃料供給等の訓練を整斉と実施し、日ごろの訓練成果を遺憾なく発揮した。

当日地本は、中央会場に展示ブースを設置し、来場者に対して予備自衛官等制度パンフレットや広報グッズを配布するとともに、同制度について説明を実施した。

特に、当日の訓練における自衛隊の活躍を目の当たりにした来場者は、自衛官や予備自衛官補について興味を深め、熱心に説明を聞く様子も見られた。

神奈川地本は「今後も引き続き、同様の機会を活用して、予備自衛官等制度の普及に努めるとともに、防衛基盤及び予備自衛官等勢力の拡充に努めていく」としている。